

R8.1.30

朝来市創生の会 様

# (株)東近江あぐりステーションの取組

- 1 東近江市の概要
- 2 数字で見る東近江市の農業
- 3 地域商社による中規模流通システムを構築
- 4 東近江市の施策と連携した生産振興
- 5 国営大規模ほ場整備事業で約680<sup>ヘクタール</sup>を次世代農地へ



1

## 1 東近江市の概要

東近江市は、日本のほぼ中央部、近畿圏と中京圏の中間に位置しており、東の鈴鹿山脈から西は琵琶湖に面し、山地からなだらかな丘陵地や平野と広がり、森・里・川・湖といった多様な姿を見せる自然豊かなまちです。

豊かな自然環境の中で、本市の歴史は縄文の昔に始まり万葉に詠われるなど、古代から現代に綿々と続く歴史や文化・伝統が大切に育まれたまちで、古くから複数の街道が交わる交通の要衝という利点を生かし、市場町や商業都市として栄えてきました。

人口 110,677人 (令和8年1月1日現在)

世帯数 47,978世帯

面積 388.37km<sup>2</sup>

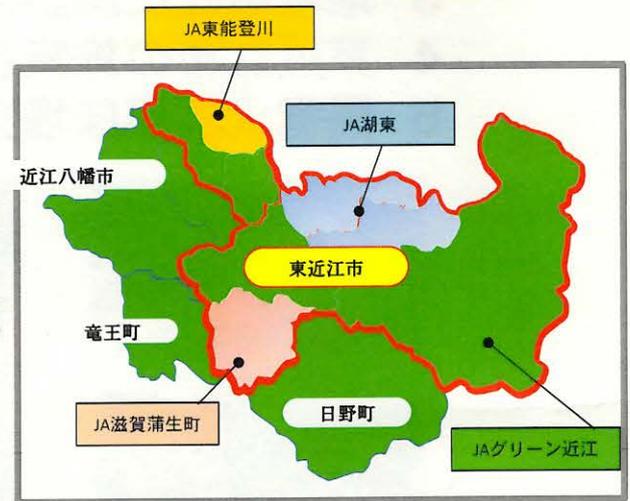
市域の56%が森林



2

## 2 数字で見る東近江市の農業

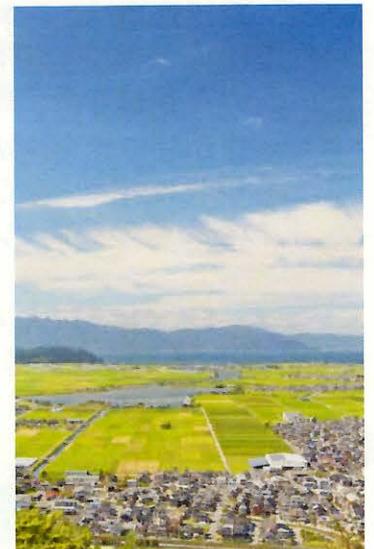
- (1) 耕地面積 **8,270ha** (近畿最大の耕地面積(R6))
- (2) 水田面積率 **97.0%** (滋賀県93.1%,全国平均54.3%(R6))
- (3) 集落営農法人 **118法人**(R6)
- (4) 農地集積率 **79.4%**(R6)
- (5) ほ場整備率 **91.6%**(R6)
- (6) 多面的機能支払 **7,009ha**
- (7) 市内に4つのJA  
JAグリーン近江、JA湖東、  
JA滋賀蒲生町、JA東能登川



3

## 2 数字で見る東近江市の農業

- (8) 農業産出額 **109.7億円**(R5)  
滋賀県内**1位** 近畿**8位**
- (9) 耕種農業産出額 **94.1億円**
- (10) 米の農業産出額 **56.7億円**  
滋賀県内**1位** 近畿**1位**
- (11) 畜産農業産出額 **15.6億円**



4

## 2 数字で見る東近江市の農業

### (13) 耕地面積・農業産出額ランキング(近畿)(R5)

耕地面積 (単位: ha)				農業産出額 (単位: 千万円)							
	都道府県	市町村	耕地面積 (ha)	順位	都道府県	市町村	農業産出額	米	野菜	果実	畜産
1	滋賀県	東近江市	8,270	1	兵庫県	南あわじ市	2,129	175	1,356	22	551
2	滋賀県	長浜市	7,880	2	和歌山県	紀の川市	1,962	85	201	1,377	57
3	兵庫県	丹波市	5,430	3	兵庫県	神戸市	1,418	280	540	126	381
4	滋賀県	高島市	4,960	4	和歌山県	有田川町	1,296	14	23	1,115	29
5	兵庫県	豊岡市	4,820	5	奈良県	五條市	1,284	39	326	609	215
6	滋賀県	甲賀市	4,780	6	兵庫県	丹波市	1,280	309	160	37	635
7	京都府	京丹後市	4,630	7	兵庫県	豊岡市	1,179	361	165	13	623
8	和歌山県	紀の川市	4,440	8	滋賀県	東近江市	1,097	567	238	27	156
9	兵庫県	姫路市	4,370	9	和歌山県	田辺市	1,089	27	39	923	20
10	兵庫県	神戸市	4,320	10	兵庫県	上郡町	986	50	14	3	910



#### 主な農畜産物

順位	都道府県	市町村	農畜産物
1	兵庫県	南あわじ市	タマネギ、レタス
2	和歌山県	紀の川市	みかん、柿、桃
3	兵庫県	神戸市	牛、トマト
4	和歌山県	有田川町	みかん
5	奈良県	五條市	柿、いちご
6	兵庫県	丹波市	牛、米、花き
7	兵庫県	豊岡市	米、プロイラー
8	滋賀県	東近江市	米、きゅうり、牛
9	和歌山県	田辺市	梅、みかん
10	兵庫県	上郡町	鶏

#### 品目別農業産出額

品目	産出額	近畿順位	滋賀県内順位
米	56.7	1位	1位
小麦	1.7	1位	1位
大豆	3.8	1位	1位
はくさい	1.1	3位	1位
キャベツ	2.3	5位	1位
きゅうり	3.2	1位	1位
トマト	3.9	3位	1位
いちご	2.0	8位	1位
ぶどう	1.3	14位	1位
メロン	0.5	4位	3位

「市町村別農業産出額」(推計)

(単位: 億円)



5

## 3 地域商社による中規模流通システムを構築

### (1) 地域商社設立の経緯

#### ○小椋市長の素朴な疑問

なぜ、市内のスーパーには群馬県産のキャベツや長野県産のレタスばかりなの？東近江市産の野菜はないの？近畿最大の耕地面積なのに…

群馬産キャベツ

長野産レタス

あわじ産玉葱



#### ○小椋市長の主張

農家が安定して「基本給」を得られる仕組みがなければ、就農する若者は出てこない！



#### ○「農業の30年問題※」への答えを示すために立ち上がる必要があった！！

※農業の30年問題

平成30年、国による米の生産数量目標配分及び米の直接支払交付金が廃止となった。米作地帯の当市において農家所得への直撃は避けられない事実であった。



#### 儲かる農業への転換！

#### 米・麦・大豆と野菜の収支比較

	麦	米	大豆	麦+大豆	玉ねぎ	キャベツ	きゅうり(施設)
経費	28	40	68	96	118	136	1,349
収入(うち補助金)	70(59)	120(-)	152(59)	202(94)	346(34)	379(34)	2,242(34)
収支	42	80	84	106	228	243	893



10aあたり 単位: 千円  
滋賀県農業経営ハンドブックより

6

## 地域商社設立の取組

○平成29年度

- ・県、市、4JAで組織する東近江プライマリーCo.協議会を設立

先進地の地域商社から指導、助言を受けながら、市内農産物を地域のスーパーや小売店等へ流通させる「地域内中規模流通」の構築に向け、地域商社の設立を目指した。

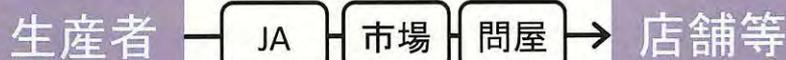
○平成30年度

- ・4月18日  株式会社 東近江あぐりステーション HIGASHIOMI AGRISTATION を設立  
(資本金:市1,000万円・JA1,000万円を出資)



## (2) 地域商社が担う中規模流通

### 大規模流通(市場流通)



- ★メリット  
大量出荷ができる。
- ★デメリット  
大産地等ブランドがなければ競争力が低く価格が乱高下する。

### 中規模流通 (地域商社)



- ★メリット  
出荷された野菜等は安定価格で買取るため、安定的な収入が見込める。  
商品化作業は地域商社が行うことから、生産に集中できる。
- ★デメリット  
大量出荷は見込めない。

### 小規模流通(直売)



- ★メリット  
生産者は売値を決めることができる。
- ★デメリット  
商品管理は生産者が行うため、売れ残りは持ち帰りとなる。そのため安定収入の確保は困難である。

## (3) 地域内中規模流通の仕組み



## (4) (株)東近江あぐりステーションの会社概要

- ① 八日市公設地方卸売市場内に事務所と商品化作業場を設置
- ② 冷蔵庫の導入
- ③ トラックの導入(運搬用3tトラック2台・インショップ配送車両3台)
- ④ 野菜専用包装機、玉葱選果選別機の導入



設立	平成30年4月18日
資本金 株主	2,030万円 東近江市(1,000万円) グリーン近江農業協同組合(440万円) 湖東農業協同組合(250万円) 滋賀蒲生町農業協同組合(180万円) 東能登川農業協同組合(130万円) 公益財団法人東近江三方よし基金(30万円)
役員 従業員数	代表取締役 山本 伸治 取締役 南川 喜代和(東近江市副市長) 取締役 藤 関 明 雄(一財)愛の田園振興公社専務理事) 監査役 西谷 弘 士(グリーン近江農業協同組合常勤監事) 正社員5名 パート社員15名
所在地	滋賀県東近江市市辺町2533番地 (東近江市八日市公設地方卸売市場内)



### 3 地域商社による中規模流通システムを構築

#### 東近江あぐりステーションの取組①

##### 【生鮮販売】

販売形態	販売先	店舗名
買取販売	イオンリテール(株)	草津店(草津市)
		近江八幡店(近江八幡市)
		長浜店(長浜市)
	(株)平和堂	県内店舗(センター納品)
	(株)アドバンス(万代)	大阪・京都店舗(センター納品)
インショップ販売	(株)平和堂	旭食品(株)
		大阪(センター納品)
		アル・プラザ八日市店(市内)
		フレンドマート湖東店、能登川店、八日市妙法寺店(市内)
		アル・プラザ近江八幡店(近江八幡市)
		フレンドマート八幡鷹飼店(近江八幡市)
フレンドマート竜王店(竜王町)		

#### イオン 地場産コーナー(買取販売) 県内3店舗



11

### 3 地域商社による中規模流通システムを構築

#### 平和堂 地場産コーナー(インショップ販売) 市内4店舗、市外3店舗

##### 市内店舗(4店舗)



平和堂アル・プラザ八日市店  
R 2年1月から



平和堂フレンドマート湖東店  
R 3年8月から



平和堂フレンドマート能登川店  
R 7年2月から



平和堂フレンドマート八日市妙法寺店  
R 7年4月から

##### 市外店舗(3店舗)



平和堂フレンドマート八幡鷹飼店  
R 2年3月から



平和堂フレンドマート竜王店  
R 2年12月から



平和堂アル・プラザ近江八幡店  
R 4年1月から

12

### 3 地域商社による中規模流通システムを構築

#### 東近江あぐりステーションの取組② 【加工業務用販売】

販売形態	販売先	店舗名及び業務	供給商品
買取販売	㈱リンガーハット(丸安青果㈱経由)	長崎ちゃんぽん	キャベツ
	プライムデリカ㈱	セブンイレブン向け総菜	キャベツ、大根、人参
	㈱マルタマフーズ	福祉医療配膳	キャベツ、人参
	(農)近江農産組合	漬物製造	きゅうり、大根
	(農)滋賀第五営農組合	漬物製造	白菜、大根
	㈱陣屋商店	カット野菜	青ねぎ、かぼちゃ、冬瓜
	㈱坪井商店	カット野菜	青ねぎ、トマト、葉物、白菜
	㈱淡路ふるさと産業	玉ねぎ加工販売	玉ねぎ
	㈱ピクルスコオペレーション (丸安青果㈱経由)	漬物製造	かぶら
㈱ベジカフーズ	カット野菜	白菜、かぼちゃ、玉葱、人参	



プライムデリカ㈱へ配送

#### 東近江あぐりステーションの取組③ 【企業給食】

販売形態	販売先	配送先	供給商品
買取販売	中央物産㈱	Panasonic草津工場	米、野菜全般
	㈱LEOC	村田製作所八日市工場	米、野菜全般



村田製作所八日市工場社員食堂

13

### 3 地域商社による中規模流通システムを構築

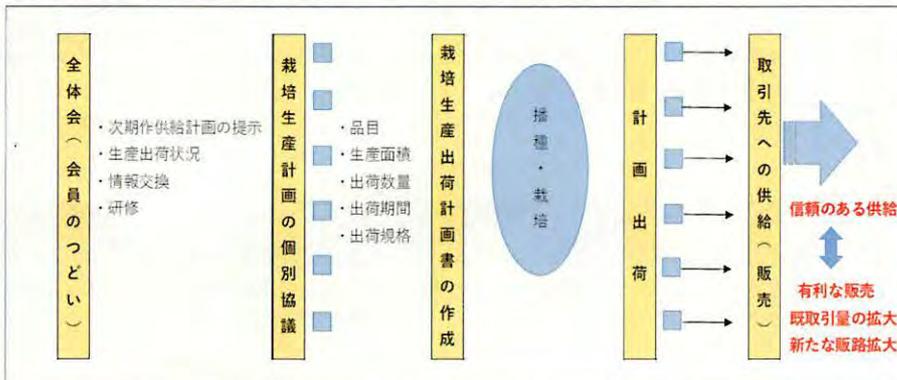
#### 東近江あぐりステーションの取組④

##### ○東近江市中規模流通生産振興会(あぐり生産振興会)の設立と運営

取引先である大手スーパーや飲食チェーン店、食料製造会社等の**需要に即した周年の地場野菜を安定的かつ計画的に生産出荷する体制を確立するため**、地域内中規模流通の仕組みづくりに賛同し、共に取り組んでいただける生産者とともにあぐり生産振興会を発足しました。  
(令和2年12月1日)



##### あぐり生産振興会 会員登録～計画出荷



##### あぐり生産振興会会員の特徵

- ①年会費なし
- ②会の役職就任なし
- ③都度入退会可能

会員数	100
農業法人	26
個人農家	61
部会等	5
会社法人	8

令和7年3月31日現在

14

### 3 地域商社による中規模流通システムを構築

#### あぐり生産振興会会員に求めること

##### ①地域内中規模流通の仕組みの理解

- ・地域の農家から安定的に農産物を買取り、袋詰め等を行った上で、短い流通経路で地域の消費者に新鮮な農産物を届ける**仕組みであることへの理解**。
- ・取引価格においては、市場価格の5年平均価格を目安として、(株)東近江あぐりステーションが担う商品化作業や輸送経費等を考慮し、**あまり変動しない価格で取引に努めていることへの理解**。



##### ②需要に即した安定的な生産が見込める生産者

- ・**流通に見合う物量**の安定的な生産出荷ができること。
- ・市場出荷と同程度の**良質な野菜等の生産**ができること。
- ・市場等には左右されず、**緩やかな契約栽培的に安定して生産出荷**ができること。
- ・(株)東近江あぐりステーションの**出荷規格に沿った野菜等の出荷**ができること。

#### あぐり生産振興会会の活動

##### ①全体会の開催

- ・安定的な生産出荷の推進や会員と(株)東近江あぐりステーションの相互の理解を高めるため、全体会（生産出荷状況、取引先の需要に即した供給計画の提示、情報交換等）を開催する。

##### ②栽培生産計画の協議

- ・(株)東近江あぐりステーションが示す販売先の需要に即した**供給計画(次期作供給計画)に基づき**、会員ごとに**栽培生産計画を協議**します。



##### ③計画出荷

- ・栽培生産計画の協議に基づき、(株)東近江あぐりステーションへ**計画出荷**します。

15

### 3 地域商社による中規模流通システムを構築

#### (株)東近江あぐりステーションの実績

##### 収支実績(単位:千円)

	第1期 (平成30年度)	第2期 (令和元年度)	第3期 (令和2年度)	第4期 (令和3年度)	第5期 (令和4年度)	第6期 (令和5年度)	第7期 (令和6年度)
売上高	96,004	190,711	211,580	209,418	221,053	225,685	310,814
売上原価	71,380	142,012	151,463	162,315	174,258	186,115	248,990
売上総利益	24,623	48,699	60,116	47,102	46,795	39,569	61,823
販売費及び一般管理費	46,726	69,951	56,850	57,480	56,780	56,524	75,960
営業利益	▲22,102	▲21,251	3,265	▲10,377	▲9,984	▲16,954	▲14,137

##### 市内産仕入実績(単位:千円)

	第1期 (平成30年度)	第2期 (令和元年度)	第3期 (令和2年度)	第4期 (令和3年度)	第5期 (令和4年度)	第6期 (令和5年度)	第7期 (令和6年度)
市内産仕入高	—	74,667	64,555	91,781	98,214	102,358	121,214

##### 出荷農家数(単位:市内農家) ※( )内は全体

	第1期 (平成30年度)	第2期 (令和元年度)	第3期 (令和2年度)	第4期 (令和3年度)	第5期 (令和4年度)	第6期 (令和5年度)	第7期 (令和6年度)
出荷農家数	68(85)	132(169)	169(209)	151(175)	141(171)	143(181)	149(178)

16

## 4 東近江市の施策と連携した生産振興



### (1) 地域活性化起業人の導入と生産振興

#### 1 概要

令和5年8月から総務省の地域活性化起業人制度(企業人材派遣制度)を活用し、民間人材の受入による農産物の生産振興事業を実施

#### 2 期間

令和5年8月1日～(3年間の予定)

#### 3 派遣元企業

タキイ種苗株式会社 京都府京都市

#### 4 地域活性化起業人

神出一昭氏(資材部課長補佐(企画推進・生産資材仕入担当))

#### 5 業務内容

- (1) 野菜及び果樹の需要に応じた作付及び出荷の推進
- (2) 栽培相談及び情報提供(品種、資材、機材等)
- (3) 栽培に係る研修及び勉強会の企画、運営
- (4) (株)東近江あぐりステーションとの連携による農家支援



有効資材の試験による生産振興



先進地視察の企画運営



栽培相談及び情報提供



種苗・資材メーカーを集めた展示会の企画運営

17

## 4 東近江市の施策と連携した生産振興



### (2) 水田野菜生産拡大推進事業

#### 1 概要

水稻・麦・大豆の農業から、水田を活用した野菜の生産への転換を支援する事業

#### 2 事業内容

- 交付要件・・・
- ① 1作物当たり10a以上作付拡大すること。
  - ② 3年間、取り組みを継続すること。
  - ③ 市で設定した下限収量を超えること。
  - ④ 拡大した作物について、出荷・販売していること。
- ※上記以外の要件あり

助成単価・・・ 5万円/10a(1年目)、3万円/10a(2年目)、1万円/10a(3年目)

- 助成対象・・・
- ① 市内の認定農業者及び集落営農組織
  - ② 市内のJAが取りまとめる部会等の生産組織
- 対象作物・・・ 指定野菜、  
市内JAが推進する作物



18

## 4 東近江市の施策と連携した生産振興

### (3)東近江市高収益作物生産振興事業



#### 1 概要

水田等を高度に利用し、野菜等を周年栽培できる輪作体系の確立及び収益性の高い野菜、果樹、花き・花木などの高収益作物の生産振興に資するため、生産、出荷に必要な機械・施設の整備等にかかる費用の一部を補助する事業

#### 2 事業内容

##### ① 機械施設等整備事業

高収益作物の生産面積の維持・拡大や省力化のための機械施設等の整備

##### ② ハウス等整備事業

高収益作物の生産用ハウス及び付帯設備の整備

##### ③ 露地野菜用機械等整備事業

露地野菜の生産面積拡大のための特定の機械設備等の整備

##### ④ 水稲育苗ハウス有効活用事業

水稲育苗ハウスを活用した野菜生産のための器具・資材等の整備

##### ⑤ 営農連携・機械化推進事業

露地野菜の生産面積拡大や省力化のための農機具のレンタル及び農作業オペレーションの委託等

19

## 4 東近江市の施策と連携した生産振興

### (3)東近江市高収益作物生産振興事業の補助実績

R8.1.19現在



件数実績(単位:件)

	機械施設	ハウス	露地野菜	育苗ハウス	連携	JA	水田	合計
R4	12	2	9	5	0	2	—	30
R5	18	2	3	6	1	2	1	33
R6	7	0	2	3	0	0	3	15
R7	14	1	3	1	0	0	7	26
合計	51	5	17	15	1	4	11	104

金額実績(単位:円)

	機械施設	ハウス	露地野菜	育苗ハウス	連携	JA	水田	合計
R4	1,591,000	881,000	2,983,000	444,000	0	1,550,000	—	7,449,000
R5	2,359,000	1,000,000	804,000	541,000	8,000	1,285,000	622,000	6,619,000
R6	1,055,000	0	734,000	294,000	0	0	1,070,000	3,153,000
R7	1,768,000	500,000	888,000	100,000	0	0	4,555,000	7,811,000
合計	6,773,000	2,381,000	5,409,000	1,379,000	8,000	2,835,000	6,247,000	25,032,000

主に水田を活用した野菜作付に必要な機械や水稲育苗ハウスでの野菜作付にかかる機械導入を支援することで、市内の野菜生産増加を図っています。

20

## 国営農地再編整備事業

### (次世代農業促進型)ー東近江地区ー

- ① 狭小農地（1反区画）が残り、農業機械の大型化に対応できず効率的な農作業が困難な状況。
- ② 昭和50年代に整備された用水管（石綿管）は、老朽化により漏水事故が発生し、施設の維持管理費が農業者の大きな負担となっている。
- ③ 農業従事者の高齢化と土地持ち非農家の増加で農業離れが加速しており、集落営農法人が受け皿となって地域農業を支えているが、集落営農法人においても後継者不足問題が深刻化しつつある。
- ④ 次世代を担う後継者を確保し、将来に渡り地域農業を継続していくため、国営農地再編整備事業による基盤整備と合わせてスマート農業を導入し、未来につなぐ農業を展開して行く。



● 受益面積	681ha
● 受益戸数	1,031戸
● 認定事業費	340億円
● 負担割合	国 66.6% 県 25.2% 市 5.0% 地元3.2%
● 対象集落	16集落（上平木町、柏木町、下羽田町、中羽田町、上羽田町北方、上大森町、大森町、芝原町、池田町、今代町、寺町、岡田町、御園町、林田町、建部日吉町、建部瓦屋寺町）